

あべともこニュース

癒着をただし、クリーンでフラットな社会の実現を

◆「聞く力」を持たない国葬開催

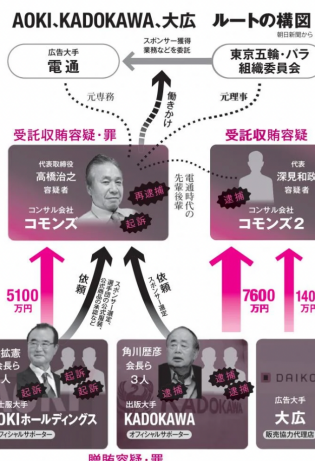
27日、安倍元首相の国葬が日本武道館で開催、この間、閣議決定にのみ基づいて、費用は総額約16億6000万円としつつも、最終的には国葬後に公表とし、政府は一貫して国民に十分な説明義務を果たしてきませんでした。各報道機関の世論調査でも「反対」意見が半数超、市民団体からは当該予算の執行差し止めを求めた申し立てもあつたにもかかわらず挙行されました。

阿部知子は、立憲民主党の仲間と共に国葬同時刻に国会正門前で開催された「安倍元首相「国葬」反対！9・27国会正門前大行動」に参加、「命をかけて民主主義を守ろうとした赤木さんを蔑ろにした当時の政権責任者が国葬に値するのは甚だおかしい、国葬開催を反対することが民主主義であり、私たちの人権・尊厳を守ることが重要」だと近藤昭一衆議院議員から訴えました。国民の思いに添わない「国葬」はあり得ません。

◆オリンピック汚職、原因は何処？

東京五輪・パラリンピック大会に係る贈収賄事件により、逮捕者が続出。先月17日に組織委員会の理事をつとめた高橋治之氏の逮捕を契機に、出版大手KADOKAWAの元専務らも逮捕され、その額の規模は7600万円に上っています。

IOCからはペナルティとして日本選手への国際大会参加を認めない可能性もあるという報道もあります。政治と金ならぬ、スポーツと金の利権の闇をしつかりと追求し、フェアなスポーツ運営を期待したいです。



出典：9.22「東京五輪汚職事件を招いた組織委の「電通への丸投げ」1社独占でチェック機能なし<AERA>

◆台風15号災害にみる災害と人命救助

24日から25日にかけて台風15号が静岡県を中心に甚大な被害をもたらしました。浜松市で、雨で増水した川の影響で鉄筋コンクリートが流され、大井川鉄道は土砂崩れにより復旧の目処が立たず。静岡市では、送電鉄塔倒壊、断水も6万軒以上に広がるなど、あらためて自然災害の恐ろしさが顕著になりました。

20年7月、熊本県の球磨川が氾濫し、死者数が約60名という大きな被害を残しました。この頃、ダム建設をはじめ、流域治水という水災害の激甚化を防ぐ議論が改めてなされ、21年4月には「流域治水関連法」が成立し、一層自然災害と水との関わりが注目されました。

立憲民主党は、23日に台風15号に関する情報連絡室を設置し、被害情報収集に着手しています。水は命の糧にもなりうる一方、暮らしをも奪いかねないものです。自分達を守るためにも自然とどう共存していくか、またその整備をする



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川県 12 区（藤沢市・寒川町）
当選 8 回、東京大学医学部卒業、
小児科医、あべともこ子どもクリニック（湘南台）理事長
現在、厚生労働委員会・沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員長、
原子力問題調査特別委員会委員



あべともこ
公式Twitter
@abe_tomoko
https://twitter.com/abe_tomoko



あべともこ事務所
公式Facebookページ
<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこ後援会入会及び、ボランティアスタッフ募集中！



写真：「安倍元首相「国葬」反対！9・27国会正門前大行動」
マイクを握るのは、近藤議員、
あべともこの右は吉田晴美衆議院議員